

アンチスタティックの効果(7) (HP 収載)

1. 始めに

前報(6)に引き続き CD 再生におけるアンチスタティックの効果調べていきます。

2. アンチスタティックの試聴方法

今回は、47 研の CD トランスポート 4716 におけるアンチスタティックの効果調べてみます。

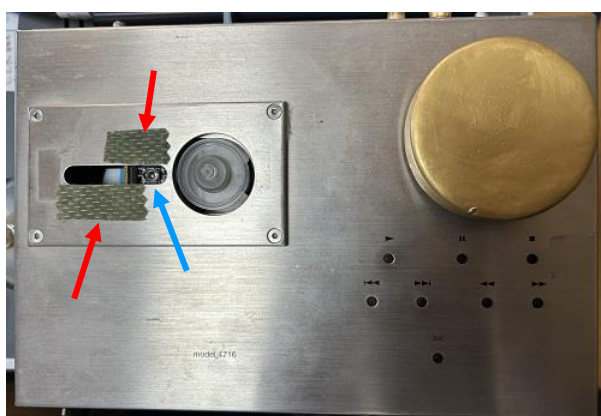
再生経路は次のとおりです。

4716→CCV-5 (GPS-777 よりクロック入力) →DAC-1→TruPhase

この 4716 は、トレイタイプでなく、回転軸に CD をねじ込みしきのプラスチック製のロックナットで固定するようになっており、トレイはありません。

また、CD アンチスタティックも底をついていますので、レコードアンチスタティックを 2 枚、他から外してきて、写真のように筐体天板のレンズの窓の近傍に貼り付けます。レコードアンチスタティックの両面テープは追加してめくれないようにしておきます。

なお、CD をセットした後、インフラノイズの以前のアクセサリー Cremona を載せて一緒にロックナットで固定します。



赤矢印：レコードアンチスタティック
青矢印：レンズのスタート位置



音源は下記を使用します。

ABC 放送 ABC SH-9800

名曲の花束

プラメン・デュロフ指揮ソフィアゾリステン

イリヤ・ペトロヴァ (Vn)

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1 他

フランソワ＝フレデリック・ギィ (ピアノ)

グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

Satirino SR 091J.S

J.S.バッハ Goldberg Variations

ケネス・ワイス (チェンバロ)

フォンテック FOCD9911

ドヴォルザーク(シェーファー編) 他

弦楽四重奏曲 第 12 番 へ長調 Op.96 「アメリカ」 他

アンサンブル・ウィーン＝ベルリン

3, アンチスタティックの試聴結果

試聴はレコードアンチスタティックなしの状態でおき、レコードアンチスタティックを貼った後に再び試聴します。

ソフィアゾリステンは、レコードアンチスタティックなしでは、解像度は今一つで、おっとりした穏やかな鳴りかたです。レコードアンチスタティックを貼りますと、一聴して穏やかな音色はそのままに、細かいニュアンスが現れ、もどかしさがなくなります。

ベートーヴェンのチェロソナタは、レコードアンチスタティックなしでは、**EMT981**で再生した場合に比べると、迫力は後退しますが、ソフトで穏やかな音です。レコードアンチスタティックを貼りますと、解像度が上り、ピアノの響きは豊かに、チェロ

のボウイングも生々しさが戻ってきます。

ドヴォルザークの弦楽四重奏曲「アメリカ」は、レコードアンチスタティックなしでは、EMT981 で再生した場合の生演奏を彷彿とする生々しさはありませんが、木管の柔らかい音がしています。レコードアンチスタティックを貼りますと、個々の木管の質感が向上し、奏者の演奏の様子が生々しさが前面にでてきます。

4. まとめ

変則的な使用方法ですが、4716 の筐体天板のレンズの窓の近傍にレコードアンチスタティックを貼る効果を認めました。

以上